

議長総括(仮訳)
アジア・ゼロエミッション共同体閣僚会合
2023年3月4日 東京

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの閣僚は、2023年3月4日に東京でアジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)閣僚会議を開催し、「アジア・ゼロエミッション共同体共同声明」を発出した。

この共同声明に加えて、AZEC のパートナー国は、以下の観点を考慮しつつ、さらに協力の議論と行動を進めていくことで一致した。

<エネルギー効率と需要サイドのエネルギー転換>

省エネルギーはエネルギートランジションにおける「第一の燃料」である。エネルギーと資源の節約と効率的な利用は、全てのセクターに多くの利益をもたらす。エネルギー効率とエネルギー変換技術の促進は、脱炭素化、エネルギー安全保障、経済効率にとって非常に重要である。

<再生可能エネルギー／エネルギー管理>

太陽光、風力、水力、地熱、バイオエネルギーといった再生可能エネルギーは、脱炭素化エネルギーの重要な供給源であり、国産エネルギーとしてエネルギー安全保障や経済発展に寄与する。エネルギー転換を加速するため、経済性や地域社会への受容性を考慮しつつ、再生可能エネルギーやエネルギーマネジメント技術の普及を強化する必要がある。

<天然ガス・LNG>

LNG は、移行エネルギーとして世界的に需要が拡大し続けている。天然ガス・LNG の上流開発を強化することは、将来の需要に対応した天然ガスの安定供給のために必要である。また、CCS や水素・アンモニアへの転換により天然ガスをゼロエミッションエネルギーとすることは重要である。

<CCUS/カーボン・リサイクル>

CCUS/カーボン・リサイクルは、エネルギーや産業部門などの大量排出源から大気中への CO₂ 排出を削減できる重要なテクノロジーとなる。アジアでの CCUS/カーボン・リサイクルの開発のための国際協力の推進が望まれる。

<水素・アンモニア>

水素・アンモニアは、火力発電、運輸部門、排出削減困難な産業部門の脱炭素化に大きな役割を果たす。複数の水素・アンモニア製造拠点とサプライチェーンの確保、多様な水素キャリアの活用、需要創出努力の強化、実証プロジェクトで得た知見・ノウハウの共有が不可欠である。

<重要鉱物>

カーボンニュートラル経済に向けて、リチウム、ニッケル、レアアースなどの重要鉱物の需要が急速に増加することが予想される。重要鉱物の完全な透明性と持続可能な供給を確保するため、安全で責任あるグローバルなサプライチェーンの構築が不可欠となる。

AZEC パートナー国は、エネルギー効率、エネルギー変換、電化、電力部門および運輸部門の脱炭素化、再生可能エネルギー、エネルギー管理、バイオエネルギー、天然ガス、LNG、水素、アンモニア、CCUS/カーボン・リサイクル、重要鉱物、持続可能金融など、ネットゼロ排出/カーボンニュートラルへの多様かつ現実的な道筋を追求する上での協力についてさらに議論する。